

日本ブルーノ・ワルター協会結成趣意書

古来、管弦樂の分野において、名指揮者は数多く生れました。ところが、録音システムが発明される以前の名指揮者達に関しては、伝説のみが残されていて、実際に何の様な楽曲を、如何に解釈し、何の様に演奏したかを確かめる方法は何もありません。それ故に、メンデルスゾーン、ベルリオーズ、ワーグナー、マーラー、リヒター、ビュロー等は、名指揮者と称されながら、我々にとっては「幻」の名指揮者に過ぎず、私達自身の耳で、彼等の名声のよって来る由縁を確認出来ない事は、本当に残念な事です。また、たとえ録音が遺されている名指揮者であっても、シリンダー録音、または旧吹込ディスク録音等、古いシステムによる録音である為に、今日では過去の名指揮者として、葬り去られた人達も居ます。シュヴァイアールやコロヌヌ等が、この範疇に入ります。

人類が生んだ最高の指揮芸術家であるブルーノ・ワルターの場合には、幸いにして、旧吹込、電気吹込SPレコードのみならず、ステレオの録音まで数多く残っています。然し乍ら、現在最新の録音システムと考えられているステレオやテープ録音であっても、何時かは旧式の録音システムとされる時は、必ずや来るに違いありません。ワルターの様な、時代を超越した偉大な指揮者は、何時の時代でも真の音楽愛好家に敬愛されねばなりません。また、その様な真摯な音楽愛好家は、ワルターの解釈・演奏を通じて、真の音楽芸術に触れる機会を、常に与えられる権利を有しています。

その為に、日本ブルーノ・ワルター協会が、この度結成された次第です。協会結成の目的は、ブルーノ・ワルターの偉業を顕彰し、その業績を維持し、次代の新しい世代の人達に継承して行く事と言えましょう。

従って、協会としては、先ず第一にワルターの全録音に陽の目を見せる事が、最も重要な事業と成って参ります。数多くの旧吹込レコード及び電気吹込初期のSPレコードの大部分は、我が国では発売されませんでした。たとえ、我が国で発売されたものでも、現在では容易に入手出来ない状態です。それから、一九三六年から一九六〇年迄の演奏の中、レコード化されていない録音も多数遺されています。つまり、その様を埋もれた名演の録音の発掘、発表、維持、継承等が、重要な事業です。また、ワルターの完全なディスクグラフィの編纂、資料の蒐集も必要な事業であると考えられます。

当協会の活潑な活動には、会員の量的増加と質的向上を必要とします。その為に、定期的に例会を開いて、珍しい録音を会員諸氏に聴いて戴き、範囲こそ限定されていても、PRに努めて、賛同者をふやして行かねばなりません。

尚、現在の段階では、当協会は、純粋なアマチュア音楽愛好家によつて構成される非営利研究団体であります。

多数の、真摯に音楽芸術を深く追求する事を希求し、ブルーノ・ワルターを心から敬愛する音楽愛好家諸兄の御賛同と、積極的な御参加を心から望んで居る次第です。

当分の間、日本ブルーノ・ワルター協会は、

菅 一万（郵便番号一六六）に設置致します。

昭和四十五年八月

日本ブルーノ・ワルター協会

結成発起人代表

菅

一